

穂発芽しにくく、倒れにくい硬質小麦 「ちくし春香」を育成しました

背景

福岡県で栽培される小麦品種は、収穫直前の降雨で発生する「穂発芽」による品質低下や、風雨による倒伏での収穫量減少が問題となっていました。

成果の内容

従来の小麦品種に比べて、穂発芽や倒伏の発生が極めて少ない、硬質小麦品種「ちくし春香」を育成しました。本品種は、穂発芽しにくいことに加え、倒伏ににくいいため、安定した品質や収穫量を確保できます。



ちくし春香 (2.3%) ミナミノカオリ (27.1%)
() 内は穂発芽した粒の割合



ちくし春香 (稈長75cm) ちくしW2号 (稈長86cm)

図 雨による穂発芽発生の違い
() 内は穂発芽した粒の割合

図 ほ場における稈の長さの違い

- ・ 令和5年9月 福岡県の準奨励品種に採用
- ・ 令和5年播きから種子増殖と、製粉会社による評価を開始
- ・ 令和6年8月6日 品種登録出願公表 第37400号

【研究者のコメント】

〇ちくし春香の普及によって、収穫直前に多雨や強風に遭遇しても、栽培しやすく、高品質な小麦を皆様にお届けできるようになります。



(農産部 麦類育種チーム)